

■ 清水真砂子プロフィール



落合由利子 撮影

1941年現在の北朝鮮に生まれる。1946年春、引き揚げ。静岡大学教育学部卒業後、高校教諭を経て、1976年より34年間、青山学院女子短期大学の専任教員を務める。現在、同大名誉教授。1974年作家論「石井桃子」(『日本の児童文学作家3』明治書院所収)で日本児童文学者協会新人賞受賞。1993年作家論集『子どもの本のまなざし』(JICC出版局)で日本児童文学者協会協会賞受賞。2004年「ゲド戦記」(岩波書店)全6巻の訳業により日本翻訳文化賞受賞。主な著書に「子どもの本の現在」(岩波書店)、「そして、ねずみ女房は星を見た」(ティン・ブックス)、「不器用な日々」「幸福に驚く力」(共にかもがわ出版)など。主な訳書に「夜が明けるまで」「めざめれば魔女」(共に岩波書店)、「ピターサンドさんのねこ」(あすなる書房)などがある。

★ぶっくんどリーム・ネットワーク福生★

誰もが子ども時代に読んだ大切な本の思い出があります。

子ども時代の読書は

大人になっても生きていくうえで大きな糧になるものです。

子どもたちに本の楽しさを伝えていきたい、そんな願いで

「ぶっくんどリーム・ネットワーク福生」が誕生しました。

“福生を読書の街に”を合言葉に、市民、学校、図書館などが協力し

“本は友だち”応援隊養成講座や、講演会などを開催しています。



ぶっくん
©いとうひろし



●JR青梅線「牛浜駅」東口下車→五日市街道沿いに徒歩5分

子どもの読書の大切さを理解し、読みきかせや、図書館・書店に連れていくなど本に親しむ活動を家庭内で行う事が求められています。「生きる力」を身に付けていく上で欠く事のできない読書の力、子どもの本のもつ力について考えるきっかけになればと思います。

■ 主催・問合せ：ぶっくんどリーム・ネットワーク福生

TEL：042-553-3111 (福生市立中央図書館内)

平成24年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動